

卒業論文作成の オリエンテーション

学際的研究協力へ向けての準備
教員と学生は知的共同体

2022年4月14日 3限
神戸大学国際人間科学部
中村 覚
satnaka@kobe-u.ac.jp

期待される姿

- **政治学の下位分類を知り、一つを習うこと。**比較政治学、国際関係論、政策学、安全保障論、平和学、外交史、政治思想史、国際政治経済学、ほか。
- アジア地域研究、アフリカ地域研究、中東・イスラーム地域研究、ほか。
- **日本学術振興会(JSPS) 社会科学細目表**
- **https://www.jsps.go.jp/data/h29_koubo_06**
- **政治学の考え方の概論を身につける:政治的に合理的な立論を展開する能力や知見を持つこと。**
- **一定の論理性を得ること。**
- **データ処理や状況判断の能力を持つこと。**
- **社会的に有用な問いを言語で述べたり、人々に問いかけたりすることが出来る。**
- **途上国の固有性、オリエンタリズムについて理解する。**

卒論での共同研究と要点

- テーマは、二層構造(特定のテーマ/政治過程)
- 例「**新型コロナウイルス**の感染対策の**政治過程**」
- 政治研究は、比較政治学、国際関係論、行政学、政治文化、安全保障学の五つを特に重視して、基本をマスターしてもらう方針
- 進学希望(民間、公務員試験)と就職希望の方々の共同作業
- 説明上の変数と定数は混同しない。
- AIには、政治学研究はまだできない。

研究の流れ

自分のタイプの確定

構 想(前期)

- ・研究テーマをおおまかに特定
- ・見通しづくり(先行研究上の課題と資料リスト)
- ・自分に適した細かい研究テーマを設定
- ・論文の仮の章立てを作成→作業の量と順序が確定

作 業

- ・改良(依拠)の対象とする理論(実証)を特定
- ・推論(仮説の設定)
- ・現地調査やヒアリング。資料や先行研究のノート作成
- ・証明作業と仮説の改良

仕上げ(後期)

- ・文章の作成と校正(なるべく早く取り掛かること)
- ・口頭試問

教員にはどんなアドバイスを求めるとよいでしょうか?
最初が最も大変

テーマ選択の戦略性

研究者志望と就職志望の目標
進学(修士、博士)のタイプを考える

- 方法、スタイル、成長過程や速度がかなり異なるので、互いに理解し、尊重した提言を行う。

(a)研究者志望:どんな技術や方法を身に付けるか

- どのような**政策的含意**のあるテーマを選ぶか
- どう新しい**学術的**成果をあげるか

適する方法(アプローチ)、
理論、モデルは何か

- ある学問(国際関係論、比較政治学など)に専門化
- 下位領域の新しい融合:国際政治学、歴史学、地域研究など

テーマ選択の戦略性

就職志望型

どんな職種や業界を目指すか
→事例やテーマは関係あるか

先輩などの
事例や
業界研究
から理解し
ていく

- ・基本は、新しいものを目指す向上心
- ・自発性や集団での作法
- ・思考力や討論力
- ・文章作成力 ほか

民間企業
シンクタンクなどの研究職
日本の公務員
国際公務員
法人職員
NGOや会社の起業
ジャーナリスト
教師

理論と実証のバランス

- 純粋な理論研究も純粋な実証研究も推奨しない。

理論と実証の比率2:8~8:2の幅

適切な組み合わせは、高度な技術に裏付けられた成果です

・作業期間の配分が大切

・自分の理論に都合の良い事実を集める陥穽に嵌らないように! (提出直前に急にテーマを変更しないことが推奨される)

新しい発見は何を 乗り越えるか 自分の壁を乗り越える

×「世間」の通
辞的理解

- ・特定の国で。
- ・国際的に

×自分個人に
とっての謎→社
会的に通ずる
問いに昇華し
て下さい。

ジャーナリズム
の理解、報道、
社会的偏向

・全ての先行研
究を乗り越えるこ
とはできるか

- ・特定の政策や政
策文書を評価
- ・シンクタンクなど
のアプローチ

・先行研究の中
の論争(一つの
見解を論破)

- ・白紙に新しい事
実を発見
- ・重大な事実の再
発見や問題提起。

外国の研究を日
本人が採り入れ
るでよいか→独
創性の考察

どんな研究を目指す場合でも 求められる事項

- 剽窃や盗用の禁止:カット&コピーは不可
- 自分の主張に「都合のよい」事実や見解ばかり集めることを避ける。
- 体調管理 毎年六月は最も疲れる。院生の研究は激務。睡眠と栄養は、一番の良薬。
- 研究ステージの意識化
- **たくさん読む能力、たくさん書く能力。**
- きちんとした行政用語や政治学の言い回しで述べたり、書いたりする能力。
- 説得力あるプレゼンテーションや双方向的なコミュニケーションをとる能力。
- 自立した社会人としてのマナーを体得する

就職志望者に期待される能力

プロフェッショナルスキル

- 正確な情報を収集し、解答を提示する能力
- 多くの分野で通用するような政治学の発想法や社会常識を体得する。
- 汎用性の高い適応力を獲得する。
- 専門的な問題を理解する能力。
- 誤解なく意図した内容を説得的に伝えるプレゼン実施能力。
- 新しい発想や方法を学習したり工夫して、自分を高めていける能力
- 教員に質問したり、意思疎通を明確にしたりするコミュニケーションの訓練。

テーマについて知る/政治的分析を加える

- あるテーマは、調べるときには、三層構造(テーマ/法(政策文書)/政治過程)・先生たちが成績を簡単に優にしない。
- 例「日本の移民統合の**政策決定過程**」
- 移民問題/政府と自治体の政策や法/政治過程(**政治研究**)
- 研究テーマの決定は、先行研究の読了だけでは、正確に確定するのは不可能である。
- 研究テーマのおおよその最終確定は、遅くとも、入学後の一年後までが期待される。
- 研究できるテーマなのか、研究は無理なテーマなのか、判断する。

政策は、何を参照したら、知ることができるか

調べ方として注目

統計データ

- エネルギー資源庁「総合エネルギー統計」、
「電力調査統計」

政策体系は、政策文書から理解

エネルギー政策基本**法**(平成14年6月)公布・施行;2002年

エネルギー基本**計画**(平成15年10月閣議決定); 2003年第一次策
定以降、第六次2021年。**審議会**での審議、**閣議決定**

政策は、さら
に細分化
/**年次予算**で
執行

原子力政策**大綱**(原子力**委員会**)

新・国家エネルギー**戦略**(**経済産業省**)

長期エネルギー需給見通し**取りまとめ**(**経済産業省**)

低炭素社会づくり**行動計画**(**閣議**)

『エネルギー**白書**』(年次刊行)は、「理解しやすい」(前年度の政策を
国会に報告するための文書)



知識を増やす:見えなかったものが視野に入ってくる

- ある研究テーマについて、どんぴしゃり、正しい解答の書かれた文献がないから、研究する。では、どうやって研究するのか。
- 近い先行研究を集める→どんな素晴らしい先行研究でも、必ず、自分の関心とはズレがある。知識には、未達が残されている。
- 資料を探す。
- 仮説を立てる。
- 周辺知識を増やす。

資料の調べ方 例(1)

- (1) 日本語の論文や書籍
- **Cinii** で検索して論文を探す。ci.nii.ac.jp
- (2) **神戸大学図書館OPAC**
- 神戸大学の蔵書を調べてない図書は、**他大学での蔵書を調べて、他大学から取り寄せて下さい。**
- 日本語と英語のキーワードで探す
- (3) **神戸大学図書館「ディスカバリー」**
- 英語の論文を探す
- (4) **シンクタンクや国連機関の報告書**
- 外国に関することで調べにくいテーマなら、シンクタンクを渉猟してみたことはありますか。
- 米国では、CSIS, RAND, Middle East Institute, Brookings, Washington Institute など
- Googleで検索する際に、キーワードに”pdf”を加えると、報告書がヒットしやすくなります。
- 例: “Egypt,” “Welfare”, “pdf”の三つのキーワードをgoogleやgoogle scholarで検索してみる。

資料の調べ方 例(2)

- (5) **米国博士論文**
- 以下の米国博士論文検索サービスを利用して、自分に関連ある論文を全てリストして下さい。キーワードは、二つ以上でも良いと思います。検索したキーワードと、作成したリストに関して、こちらに報告して下さい。
- <https://dissexpress.proquest.com/search.html>
- その中で、さらに購入したい論文を考えてみて下さい。教員の予算で購入できます。pdfダウンロードは、一点につき、\$41.00です。
- (6) **研究用ガイダンス書**
- 中村覚の例イスラーム辞典を含む、イスラーム研究方法の入門書などを下記にアップロードしました。
- <https://1drv.ms/u/s!Ald9RV9Ut35V8Sjq80wnqLkfUtHO?e=0F93KY>
- パスワードのファイルも入れてあります。
- 知的所有権の取り扱いに注意の上、ご使用下さい。
- 人名や地名の日本の学会における表記方の一例としても参考になると思います。
- (7) **専門の学術雑誌記事を徹底して調べる**。例.『国際政治』, *Comparative political studies*, *Comparative politics*, *Israel affairs*

先行研究のまとめ方

- 先行研究をまとめるときには、幅広い視野ですべての見方についてまとめる。
- 自分が結論だと思える考え方のみをまとめてはいけない。
- 「自分のテーマと同じテーマの先行研究が少ない」というコメントは、原始的なコメントである。
- **なぜ先行研究の一つ一つに当時、意義があったのか、理解することが大切→大学院生が、研究の発展を追体験して。成長する。**
- 様々な見方についてまとめた後、仮説になりそうな先行研究がどれか考える。
- その根拠、自分が検討するための方法について考える。このような方法で考えると、自分の結論に都合の良い見方のみを選ぶ研究者ではなく、公平な視野で考察する研究者であるとみなしてもらえることになる。
- 先行研究を評価する際には、まず著者の専門やアプローチ資料に関して検証する。また出版された時代を考慮して、現代から見た場合の長所と限界を考える。
- 何か自分が新しい成果を付け加えるためには、過去の議論の経緯を知らないと、付け加えることができない。

先行研究を探したり、まとめる方針

例:サーダート大統領によるエジプトの対米との同盟

- 全く同じ事件やテーマに関する先行研究がある
→異なる方法で改善できるか。
- 事例は違うが方法や枠組の似ている先行研究→自分の事例に適用できるか考える
- →例. 韓国の米国との同盟は参考になるか。
- 関連するが、中程度に大きく広がりのあるテーマの先行研究
- 例:サーダートによるイスラエルとの平和条約(米国との関係改善は、同時に進行)
- →自分のテーマに関する記述があるか探す。自分の関心にある情報収集や考察を追加する。
- 先行研究が全くない→概説や歴史に関連する記述があるか。一般的には、何か信じられている見方があるか。

研究は段階的に進むことを知る

- 研究期間: 1～2年(3～4回生)は、長いようで意外と短い。
- 時間との戦い: ペース配分は、一番の難関。
- 最初の学期: 選択したテーマに関して、先行研究と資料をリストする。
- ノート作成: 先行研究と資料をノートにしていく。
- 作業の見通し: 入学後、自分が購読したり、ノートを作成できるスピードを早く知ること。それに応じて、テーマを調整したり、能力を磨いたり、作業計画を立てるため。
- 一年以内に問いを確定: 研究テーマを論文・レポートの問いに落とし込むまでの期間。それを過ぎたら、問いを抜本的には変更しない。
- 現地調査が必要か否か、確定する。現地調査に必要な予算を確保する(私費、奨学金、研究助成金の応募など)。現地調査は、何回したいか。

研究計画作成の方法

- 指導教員届、卒論題目届などを忘れずに
- 卒業単位の確認を確実に
- 卒論提出年度の七月:多文化共生論、卒論中間発表会
- 研究テーマの最低度の合格が確信できる程度に、先行研究と資料を読み終わっている。
- 夏休みの課題が明確になる。
- 夏休み明け(10月):卒論の進捗の報告
- モデルの目星をつける。政治的分析の骨格ができあがっている。
- フィールドワークやインタビューの計画ができている(実施し終わっている)。
- 草稿を書き始める前に、最後の資料収集、考えの整理
- 卒論提出年度の11月:草稿を書き進める。
- 卒論提出年度の12月:草稿の赤入れ、書き直し
- 12月末～1月上旬(冬休み):休む
- 卒論締め切りの確認
- 卒論の提出後、口頭試問の準備

研究のタイプ

- 政策型
- フィールドワーク型
- 歴史型
- 政治構造型
- モデル適用型
- 概念構築型
- ほか

卒論の典型的な章立て

- 序章 問題意識や課題の提示
- 1章 背景、問題の意義、方法 (関連する法・規範、制度、政治過程、政治構造など)
- 2章 テーマに沿って、一部分を詳しく論じていること(1)
- 3章 テーマに沿って、一部分を詳しく論じていること(2)
- 4章 まとめと結論
- 5章立ては、内容が濃く、さらによい。

アドバイス:資料の質と量

書誌(bibliography)の活用

- 期待される資料と先行研究の読了数:20本
- 専門家のリストアップ(日本、世界、研究対象国、計5名以上)
- 資料のリストアップを急ぐ:十分な資料を確保できるか?どれが役立つか、斜め読みして確定していく。
- 関連する人物リスト、5名(二次資料でもまずは作成してみる。一次資料で正確にする)
- 関連する組織図 一つ以上
- 影響力や決定過程の構造やモデルを図示する 一つ以上
- 年表→時期区分(過程分析)
- 候補となる理論やモデルのリスト(2~3コ)
- 英語の文献や資料:活用しないと、論文やレポートの評価は、日本国内でも著しく低下。
- 英語以外の外国語:駆使できるなら、評価が高まる可能性
- 研究文献のレビュー記事や書誌:活用すると進展度アップ。先行研究の中の研究史の理解は参考になる。
- まだ使用されていない多くの資料:多いほどに、論文は斬新なものとなる潜在性。資料が少なすぎると、立論が不可能になる危険。
- 文献資料の量:整理の時間確保、理論考察の比重
- 現地調査の比重を配分する工夫が必要。
- 早く本を読む方法:最もよい本を一冊目に選び、ノートをしっかりにとって知識を全て頭に入れる。二冊目は、その倍以上の速さで読める。三冊目は、もっと速く読める。
- 引用に関して、ノートの蓄積を増やすのが大切:

一つの事件(出来事)を推理する 刑事のような作業の積み重ねが研究

- 情報収集は、資料収集か現場視察
- 関係するアクター(国家、部局、国際機関、集団)や人物の候補をあげる。
- 報道の集め方とその分析
- Google/各新聞のアーカイブ?図書館に保存されている縮刷版/神戸大学図書館は、日本の新聞の検索機能を準備/英米では、事件の年表を発行
- 例:「聞蔵IIビジュアル」という朝日新聞のデータベース
<https://lib.kobe-u.ac.jp/database/2443/>
- 報道に関する解釈を収集
- シンクタンクのペーパーを収集
- 推理

独創性とは何か

理論研究と実証研究は、共通項を持つ。よい一人の研究者は、どちらも身に付けている。

- (1) まだ論じられていないテーマで、意義の高いテーマ
- (2) 新しい資料。新しい事実の発見や確認
- (3) 既存の事実に新しい問いを発見し、説明のために新しいモデルや新しい概念を活用する。
- (4) 新しい理論やモデルの創造
- (5) 新しい組み合わせ
- (6) 新しい皮袋(新しい表現)
- (7) 演繹的アプローチか、帰納的アプローチか?どちらもでもない。仮説を指針として、帰納的に考えた後、「飛躍」が生まれる。どんな政治学の理論にも、普遍性はない。
- 政治学は、「既存の仮説のストック(貯蔵庫)」
- 研究期間に合わせて成果や発見には「規模」がある:「二カ年計画」、「三カ年計画」、「五カ年計画」、「一生の設計」。
中間的成果、究極の成果。

研究の発展とは何か

初期	静態的分析	通史	政治史	人脈理解	発言(言説)分析	回顧録、報道	欧米モデルの投影	構造化されない事実
↓	動態的分析	過程分析	社会史	情勢理解	行為分析	外交史	一次資料、地域の概念	構造化
高次	構造変容	構造変容	政治社会論	構造・過程分析	構造化・過程化	国際関係の理論や概念の適用	社会科学的概念と地域概念の比較	修正された構造化

現地の名称で書くか、社会科学の言葉で書くか

例:「××共和国」には、民主主義も権威主義もある。

例:「××条約」は、実態は軍事協力で、機能的にはバンドワゴン(追従)と同盟(勢力均衡)がありえる。

- 社会科学の言葉で書くと、普遍的に理解が可能である。ただし、あらゆる事例は、同じ説明になり、個別性が不可視になる。
- 現地にない概念で書くので、ねつ造している(研究者が過剰に読み込み過ぎ)かもしれない怖れがある。
- 現地の名称で書くと、実証度が高く、事実が確証されている。だが、その実態や機能がわかりにくくなる。他の事例と比較する視点が喪失される。
- 両方の概念を架橋するのが最高の研究

現地滞在の良さ

- フィールドワーク
- 言語では伝わらない事実の理解。人間を理解する。
- 構造化されていないものごとを繊細に理解する。
- 文献の収集。現地の新聞、テレビ、ラジオを読む/見る/聞く。
- 高いオリジナリティ:まだ研究で描かれていない真実を理解する。
- 日本では伝わらない現地での研究活動に触れる。
- 専門の教授との交友、関心ある方々とのネットワークの拡大
- インタビューの準備
- 首相、大統領、政治家、ビジネスマン、軍人、活動家、外交官などに直接に会い、人物を確かめたり、インタビューする。
- 視野や知識の広がり
- 絶対的自信
- 地域の専門家～「地域の全て(地理、人脈、歴史、憲法・法制、政治、経済、外交、治安、教育、思想、生活、文化、芸術、ほか)を知っている」という理想(明石書店の『〇〇(国名)を知る60章』シリーズ)
- ウヴェ・フリック『質的研究入門:「人間の科学」のための方法論著』小田博志 [ほか] 訳. 新版. 春秋社. 2011.

マニュアルで基本を勉強する

- 九州大学大学院法学研究院著『中国人留学生のための法学・政治学論文の書き方：日中両国語版』福岡：中国書店，2015.

書誌/専門の事典

- Hans-Jurgen Philipp. Saudi Arabia: Bibliography on Society, Politics, Economics : Literature in West European Languages With Location References (Bibliographies on Regio) . 1990.
- Oxford **Handbook**, Routledge **Handbook**などで専門の基礎を身に付ける。
- 猪口孝 [ほか] 編『政治学事典』縮刷版. 弘文堂. 2004.
- 事典は、大学の先生にとって単に入り口であり、依拠するものではない。
- **大学院入試の前に読む本**
- 久保慶一, 末近浩太, 高橋百合子『比較政治学の考え方』有斐閣, 2016.
- 久米郁男 [ほか]『政治学』補訂版. 有斐閣. 2011.
- 妹尾堅一郎『研究計画書の考え方：大学院を目指す人のために』ダイヤモンド社. 1999.

社会的意義や 政策的インプリケーション

- 地域研究、歴史研究、理論研究では、政策を考えると自体が、してはいけないことであるという考えが強かった。
- 他方、**行政学**や**政策分析**では、実践的な視点が当たり前。
- 社会的な意義は、重視されるようになってきている。
- 学問上の「価値中立」は、政策を考えないことなのか。
- **政策的含意**という視点がある。直接的には、政策に関して考えないが、研究成果は政策の改善に貢献できる。
- 「平和と共生」、「共通利益」、「多文化主義」が目標
(× 覇権主義、× 国益中心主義、× 自文化中心主義)

最新の研究道具に感度を高める

- 優れた辞書
- 類語事典、国語事典
- 各国政府の法制検索サイト
- 多言語自動翻訳アプリ(フランス語や中国語の新聞記事は、ほとんど100%正確に英語に訳せる)
- Google ドキュメント(Mac)による音声入力
- 研究検索ツール:
- オンラインでの文献入手用サイト
- オンラインでのインタビューや方法 chain interview
- 電子ブック、pdfファイル、パッドなどでの読書とノート作成
- 『速読』と普通の読書と、熟読

質の高い研究

- 概念をよく勉強して、踏まえている。専門家が知らなかった知識を提供している。
- 法制度を踏まえている(憲法や法文や規則を読んでいる)研究
- 事実の裏付けのしっかりした研究。引用の数の多い研究。
- 理論と実証の融合した研究
- 関連するアクターを列挙できている研究
- 時期区分のできている研究(動態的研究)
- 定数、独立変数、従属変数を混同しない説明。
- 草稿をよく読み直して、何度も書き直した論文(10回は書き直すため、締め切りの一ヶ月前には、最初の草稿を準備する)

理論と事例の関係

- 「初めて型」
- (1) 初めて検討される事例研究:理論的検討の前例がない事例を研究。資料を考察し、書き表す作業が大切。
- 「理論を事例に適用する」型
- (2) 解釈的事例研究:理論を事例に適用する。
- (3) 理論推定型研究:理論を利用した推定がされることがある。説明力、妥当性があるか実証が伴えるか。
- (4) 理論確認型事例研究:ある理論を適用できる事例を増やす分析
- 「事例から、理論を見直したり、仮説をつくる」型
- (5) 逸脱的事例研究:確立した理論から例外の事例。ある理論の限界を示す。
- (6) ある理論を修正したり、代替理論を提示する題材としての事例研究
- (7) 仮説生成型事例研究:問いや謎を説明する仮説をつくる。理論づくりに近い場合もある。実証が伴えるか
- A. Lijphart. “Comparative Politics and Comparative Method.” *American Political Science Review* . 65-3 (Sep., 1971): 691を修正。

なぜ10回も草稿を書き直す必要があるのか

最初の草稿は、遅くとも締め切りの一月前が理想

- 1.序章から終章まで、一貫した記述になっているのか検討する。自分が立てた方針に沿って最後まで描かれているのか。自分が読む立場になると気が付く。
- 2.よく練り上げたつもりの構想でも、**文章を書いてみて初めて、自分の欠陥にたくさん気が付く。→追加で調べたり、読み直したりする時間が必要である。**
- 2.**初出の**人名、地名、概念に対して転写、年号、場所の説明、概念の概要などが書かれているのか考えていく。
- 3.考えをもう一回深掘りする。作業の**最後に見えてくる貴重な洞察**をしっかりと書き込むため。
- 4.漢字の変換ミスがないのか考える。
- 5.「てにをは」等の誤字脱字がないのか考える。
- 6.数字が半角であったのか書き直す。
- 7.引用は、十分に多く付けられているのか考える。また、引用元の文章を読み直し、引用した文は、適切に元の文を引用しているのか、確かめていく。
- 8.**すべての章に、イントロとまとめ**(小括)が適切に書かれているのか考える。
- 9.終章の結論まで考えた後、**序章に戻って**、自分の研究デザインが適切に紹介されているのか、またそもそも適切な研究デザインだったのか、書き直す。
- 10.文献リストの記載方法が正しいか見直す。引用するはずの文献リストが、記載漏れしていないか、一つ一つ、確認する。
- 11.略号リストを作成する。
- 12.図や表をよく見直す。出所を記す。
- 13.指摘された論点が、草稿で論じられたのか考える。もう直すところが何一つないと確信することができるかどうか考える。

体調管理

- しっかり食べる。疲れたら寝る。
- 人間の肉体の器官の一つ一つは、休み方が異なるので、休むのは難しい。
- 栄養の摂取の仕方
- 脳の働き≠パソコン
- 心の癒やし
- 一般社団法人フィジカルトレーナー協会 (著), 中野 ジェームズ修一 (監修)『みんなのストレッチ 永久保存版 1日3分! 膝・腰・肩 しつこい痛みから解放される』2018年。
- 卓上加湿器 (1000円代)
- ホットパッド
- 神戸大学保健管理センター



おまけ 大学院に進学:得意技を磨く

アカデミックスクールとプロフェッショナルスクール

研究者志望型(基礎学問)

前期課程

- ・専門的な小テーマを設定して先行研究を乗り越える
- ・先行研究を全てまとめ終える。
- ・後期課程進学後、校正して投稿論文にできる。
- ・半人前の研究者として自覚

後期課程

- ・専門に関しては誰にも負けない知識を蓄える。
- ・自立して研究を継続できる能力と自信
- ・一つのテーマに関して結論
- ・半年ほど校正した後、出版できる。

キャリアアップ型(応用学問)

- ・公表してシンクタンクのペーパーにできる
- ・多くの分野で通用するような政治学の発想法や社会常識を体得
- ・汎用性の高い適応力を獲得する。
- ・専門的な問題を理解する能力。
- ・誤解なく意図した内容を伝えるプレゼン実施能力。
- ・質問したり、意思疎通を明確にしたりする訓練。